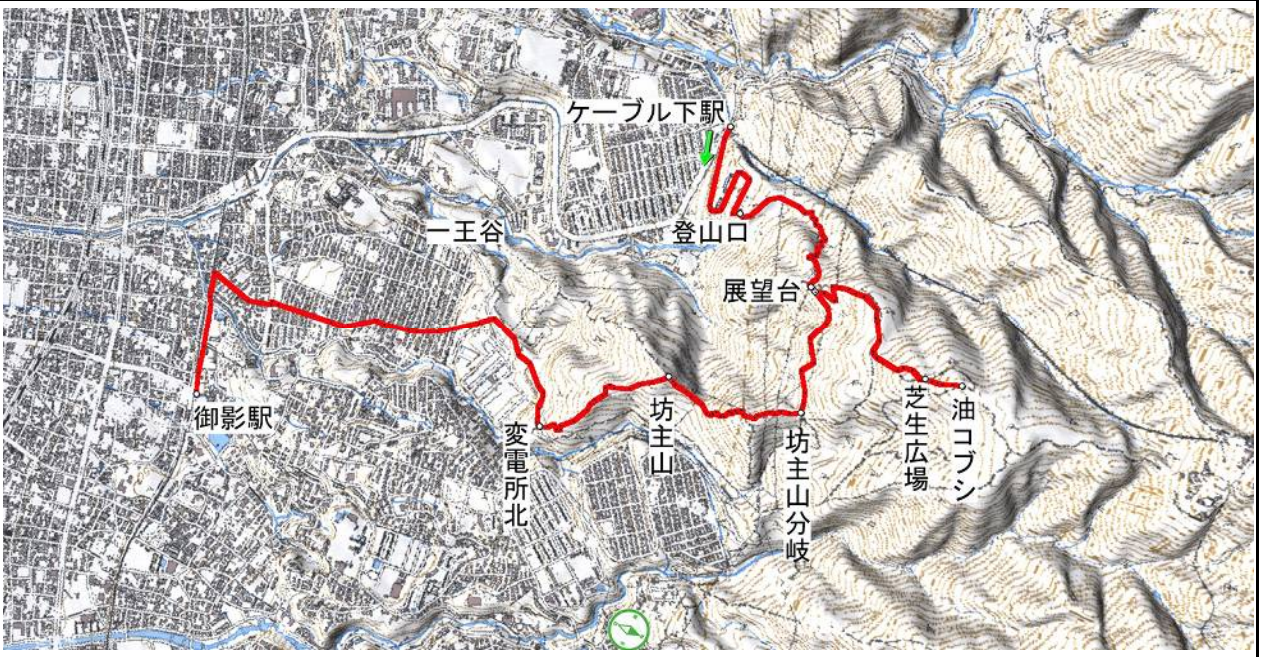
マイペース登山10:六甲　油コブシ

コース	六甲ケーブル下駅 →0.68km/16′ →登山口→0.64km/28′ →鉄塔下展望台→0.59km/32′ →芝生広場→0.09km/5′ →油コブシ→0.66km/22′ →鉄塔下展望台→0.44km/12′ →坊主山分岐→0.52km/17′ →坊主山→0.55km/16′ →新神戸変電所北→2.06km/32′ →御影駅

水平距離	6.23km	断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km	
累計高低差	登り446m、下り646m		
標準歩行時間	3：00		
実績歩行時間	3：21		



山行報告

山行日	2023・2・5（日）	天候　晴れ	参加者　5名

行　動　六甲ケーブル下駅9：28→登山口9：40～9：42→鉄塔下展望台10：12～10：21→芝生広場10：50～10：58→油コブシ11：04～12：01（昼食）→鉄塔下展望台12：58→坊主山分岐13：07～13：09→坊主山13：45～13：55→新神戸変電所北14：17→御影駅14：53

記　録

筆者の手元にあるガイドブックでは油コブシの歩行ルートを阪急六甲駅→ケーブル下駅→登山口→芝生広場→油コブシ山頂→寒天山道合流→鉄塔分岐→新神戸変電所→阪急六甲駅と外周コースを紹介されている。今回計画では油コブシまでは同じコースを歩き、下山は真南の尾根道を辿り坊主山を経て一王谷へ下る予定とした。

9時に六甲駅に集合、ケーブル下駅まではバスを利用し9時半から歩き始めた。鶴寿園の建物群を通り抜けたところが登山口、ここから油コブシまで水平距離1338mで323mを登る平均勾配24%の登りになる。途中にある3本の送電線の2本目の下が展望台で好天にも恵まれ大阪湾方面の景色が見渡せた。さらに150m登ったところにある芝生広場で小休止をして油コブシ山頂の三角点を囲んでピークショット。日当たりの良い場所を探して昼食。

食後、リーダーが油コブシから直接坊主山取付き点へ下る道を偵察したが踏み跡がなくマイペース登山には適さないと判断して鉄塔下展望台まで往路を引き返した。そこから東の渦森台へ向う水平道を450m進み、坊主山分岐から尾根道を南下し坊主山へ向った。分岐には難路注意と書かれていたが40%の急傾斜を90m下る箇所があった。坊主山から展望はなかった。

坊主山から尾根道を一王谷へ下る予定だったが、よく整備された送電線点検道を下り新神戸変電所へ下ってしまった。坊主山で一王谷へ下る道を探さなかったミスだが、分岐に気付かなかったので尾根道は薄かったと思われる。変電所からは舗装路を歩いて御影駅へ向った。

歩行時間は登りは標準時間の91%、下りは128%、下りでは部分的に立ち止まれないザレ場がり元気な人は駆け下ったが筆者は慎重に下らざるを得なかった。今回は短距離の里山歩きだったが変化に富んだ楽しめるコースだった。